

# 令和2年度用「中学音楽」3年 年間指導計画作成資料（案）

令和2年6月版

## 取り扱いに当たっての留意事項

- 「学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動」では、学習内容や時数について考えられる案を示しています。  
学校や地域の実態に応じてご参照ください。
- 表中の「学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動」とは、「学校の授業以外の場で学習したことを基に、授業で各活動が展開されること」を前提としています。  
学校以外の場のみで学習が完結するというものではありませんので、授業における配慮をお願いします。
- ウェブを活用した場面があります。音声や動画を視聴できる環境にない家庭の児童への配慮をお願いします。
- 題材ごとの配当時数、学習活動などは、今後変更になる可能性があります。予めご了承ください。
- 各題材の評価規準、及び評価基準については、当社ホームページの「年間指導計画・評価計画（案）」をご参照ください。

音楽 教育出版株式会社 中学校3年 『中学音楽 音楽のおくりもの 2・3下』『中学器楽 音楽のおくりもの』

以下の資料は、当社の教師用指導書ならびにホームページに提示している中学校第3学年の年間指導計画作成資料に基づき、「学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動」と、「指導順序を変更することが考えられる教材・学習活動」について一覧にまとめたものです。

年間指導計画例はこちらのURLから、「実用例一覧 (Excel)」の中のタブ「<実用例> 2・3下」をご参照ください。

<https://www.kyoiku-shuppan.co.jp/textbook/chuu/ongaku/document/ducu1/index.html>

注 1) 表中の「学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動」に「調べる」活動を示していますが、教科書の記述内容の理解を深めたりインターネット等を利用して調べたりすることが考えられます。「まとめる活動」については、教科書の楽譜や書き込み欄に記入・記述したり、ワークシートや生徒が準備できるノートなどにまとめたりすることが考えられます。

注 2) 学校の授業以外の場での学習で、歌唱やリコーダー等について個人で演奏する場合は、感染防止や学習環境に十分な配慮が必要なため、保護者等と確認してから実施するようにご注意ください。

注 3) 表中の「範唱」や「範奏」及び「鑑賞用音源」は、教育出版株式会社のホームページにある「『中学音楽 音楽のおくりもの』自宅学習用教材曲音源」を活用することを想定しています。なお、現段階ではアップされていないものもあります。

<https://www.kyoiku-shuppan.co.jp/textbook/chuu/ongaku/document/ducu2/doc204/m-index.html>



自宅学習用教材曲音源

教科書 ページ	題 材 名	配当時数 ( )内は 学校の 授業以外の学習分	学校の授業以外の場において行うことが考えられる 教材・学習活動	指導順序を変更することが考えられる 教材・学習活動
	教 材 ・ Let's Try! の活動			
p.4-9 p.14-15 p.75 p.16-17	歌詞の内容や曲想の変化を味わって ーオリエンテーション含むー	6 (2)	<p>情景を想像しながら「花」「荒城の月」の歌詞を音読し、歌詞が表わしている内容を調べる。</p> <p>「花」「荒城の月」の諸記号を確認しながら、旋律の反復に着目して範唱を聴いたり、範唱に合わせて主旋律を歌ったりして気がついたことを教科書に記入したりワークシートにまとめたりする。</p> <p>「花」「荒城の月」の拍子や速度を確認し、範唱に合わせて指揮の動きで表現する。</p>	<p>実際に声を出して行う歌唱活動又は歌唱に関わる全ての学習活動の指導順序を変更する。</p>
	<p>【歌唱】 花</p> <p>【歌唱】 荒城の月</p> <p>【歌唱】 荒城の月 (山田耕筰 補作編曲)</p> <p>Let's Try! 指揮をしてみよう</p>			
<p>【器楽】 箏</p> <p>p.36</p> <p>p.37</p>	<p>【器楽】 荒城の月</p> <p>【創作】 平調子の響きを生かして「荒城の月」の前奏をつくってみよう</p>		<p>1・2年生時の箏の学習を振り返り、基本的な奏法と平調子について復習する。</p>	<p>歌唱活動が制限される場合は、「荒城の月」を箏で表現したり、箏を用いて前奏をつくったりする学習を先に取り上げることが考えられる。</p>
p.24-26 p.27	音楽の構造と曲想との関わりを理解して	3 (1)	<p>教科書の説明文を読み、p.25「構成を聴き取ってみよう」を参考にしながら「ボレロ」の小太鼓のリズムと全体の強弱の変化を鑑賞用音源から聴き取り、気がついたことを教科書に書き込む。</p> <p>「ボレロ」を鑑賞用音源で鑑賞し、p.26「印象に残ったことを整理してみよう」に取り組む。</p> <p>「火星」の冒頭のリズムを鑑賞用音源から聴き取り、気がついたことをワークシートやノートにまとめる。</p>	<p>歌唱活動が制限される場合は、この題材を先に取り上げることが考えられる。</p>
	<p>【鑑賞】 ボレロ</p> <p>【鑑賞】 組曲「惑星」から第1曲「火星」</p>			

	<b>言葉の特性や曲想を生かして</b>			
p.10-11 p.12-13	【歌唱】 帰れソレントへ 【歌唱】 Top of the world	6 (2)	<p>「帰れソレントへ」「Top of the world」の歌詞を発音に注意しながら音読し、歌詞の内容を調べる。</p> <p>「帰れソレントへ」「Top of the world」の諸記号を確認しながら、速度や強弱に着目して範唱を聴いたり、範唱に合わせて主旋律を歌ったりして気がついたことを教科書に記入したりワークシートにまとめたりする。</p>	<p>実際に声を出して行う歌唱活動又は歌唱に関わる全ての学習活動の指導順序を変更する。</p>
【器楽】 リコーダー p.16-17 p.18-19	【器楽】 大きな古時計 【器楽】 ブランデンブルグ協奏曲第2番から第2楽章			
	<b>郷土の民謡や芸能</b>			
p.18 p.19 p.32-32-②	【歌唱】 子守歌 (ねんねこ ころろこ) 【歌唱】 谷茶前 【鑑賞】 くらしとともにあるさまざまな音楽	3 (1)	<p>「子守歌 (ねんねこ ころろこ)」「谷茶前」の歌詞を発音に注意しながら音読し、歌詞の内容や歌われる地域や場面について調べる。</p> <p>「子守歌 (ねんねこ ころろこ)」「谷茶前」の声の出し方に着目して範唱を聴いたり、範唱に合わせて歌ったりして気がついたことを教科書に記入したりワークシートにまとめたりする。</p>	<p>実際に声を出して行う歌唱活動又は歌唱に関わる全ての学習活動の指導順序を変更する。</p> <p>歌唱活動が制限される場合は、「くらしとともにあるさまざまな音楽」の学習を先に取り上げることが考えられる。</p>

<p>p.28-31 p.33-①-33 p.36-37 p.34-35</p>	<p style="text-align: center;"><b>総合芸術に親しもう</b></p> <p>【鑑賞】 「アイダ」から第2幕第2場 【鑑賞】 能「羽衣」キリから 【鑑賞】 文楽「義経千本桜」から Let's Try! 能の音楽を体験しよう</p>	<p>4 (1)</p>	<p>「アイダ」のあらすじや登場人物について、教科書の説明を参考にしてワークシートやノートにまとめる。</p> <p>「凱旋を祝う大合唱」と「凱旋の行進曲」を鑑賞用音源で鑑賞し、気がついたことや聴き取ったことをワークシートやノートにまとめる。</p> <p>能について、p.33-②-33の説明を参照して舞台、音楽、登場人物を理解する。</p> <p>能「羽衣」のあらすじを教科書の説明を参考にしてワークシートやノートにまとめる。</p> <p>「Let's Try! 能の音楽を体験しよう」を参照しながら「能『羽衣』キリから」を鑑賞用音源で鑑賞し、気がついたことや聴き取ったことをノートにまとめる。</p>	<p>歌唱活動が制限される場合は、この題材を先に取り上げることが考えられる。</p> <p>実際に声を出して行う「Let's Try! 能の音楽を体験しよう」の指導順序を変更する。</p> <p>文楽「義経千本桜」はまとめの学習で鑑賞するように指導順序を変更することが考えられる。</p>
<p>p.20-21 p.22-23 p.76-77 p.80-81</p>	<p style="text-align: center;"><b>混声合唱の深まり</b></p> <p>【歌唱】 時を越えて 【歌唱】 旅立ちの日に &lt;「歌のアルバム」の選択可能な他の楽曲&gt; 【歌唱】 大地讃頌 【歌唱】 故郷（混声四部合唱）</p>	<p>7 (2)</p>	<p>「時を越えて」の歌詞や反復の仕方を確認しながら、主旋律の表れ方、速度や強弱の変化に着目して範唱を聴く。</p> <p>「旅立ちの日に」の歌詞や反復の仕方を確認しながら、速度、強弱、曲想の変化に着目して範唱を聴く。</p> <p>「時を越えて」「旅立ちの日に」の諸記号を確認しながら、範唱に合わせて担当するパートの旋律を歌い、気がついたことを教科書に記入したりワークシートにまとめたりする。</p>	<p>実際に声を出して行う歌唱活動又は歌唱に関わる全ての学習活動の指導順序を変更する。</p>

p.38-39 p.39	<b>ギターの豊かな表現</b>	3 (1)	<p>中学器楽「ギター」のページを参照してクラシック・ギターについて調べたり、ギターの独奏曲を公衆送信などの音源を利用して鑑賞したりして、ギターについて分かったことや鑑賞した曲などをノートにまとめる。</p>	<p>歌唱活動が制限される場合は、この題材を先に取り上げることが考えられる。</p>
	<p>【鑑賞】 アランフェス協奏曲</p> <p>【鑑賞】 アランブラ (アルハンブラ) の思い出</p>			
p.40-41 p.42-43	<b>言葉や旋律の繰り返しを生かして</b>	3 (1)	<p>「CMソングをつくろう」の活動1の説明を読み、キャッチコピーをつくり教科書に書き込む。</p> <p>つくったキャッチコピーを声や身近な楽器で指定された三音(ミ・ソ・ラ)を使って表現しながら旋律をつくり、教科書に書き込む。</p> <p>「Let's Try! 楽曲全体の構成を調べてみよう」の説明を読み、「Let It Be」の歌詞の現れ方や繰り返し方を範唱から聴き取り、教科書に書き込む。</p>	<p>歌唱活動が制限される場合は、この題材を先に取り上げることが考えられる。</p> <p>創作分野の学習の前に、「Let's Try! 楽曲全体の構成を調べてみよう」を先に取り上げることが考えられる。</p>
	<p>【創作】 CMソングをつくろう</p> <p>Let's Try! 楽曲全体の構成を調べてみよう 「Let It Be」</p>			